

Heartful Technology
Yushin

株主 通信

第40期



2012年度 優秀省エネルギー機器
日本機械工業連合会会長賞受賞

株式会社ユーシン精機

Yushin Precision Equipment Co., Ltd.

証券コード6482(東証第一部)

2012年4月1日から2013年3月31日まで

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第40期事業年度(2012年4月1日から2013年3月31日まで)を終了いたしましたので、その概況につきまして、以下のとおりご報告申し上げます。

代表取締役社長
小谷 真由美

社長インタビュー

Q 第40期の業績についてお聞かせください。

A. 連結売上高は147億2,164万円となり前期比3.4%の増収、経常利益は17億4,657万円となり前期比38.0%の増益となりました。なかでも取出口ロボット「YCシリーズ」が高速・軽量・省エネという優位性を認められ、売上を伸ばしました。またアメリカや韓国、タイやインドネシアなどの東南アジアの市場が活況であり、海外子会社の業績も好調に推移しました。

Q 「YCシリーズ」とは、どのような製品ですか。

A. 2011年度日本機械学会賞(技術)を受賞した世界最新の設計手法「最適設計※」を用いて機体を軽量化し、省エネ性・高速性を高めた、最適形状取出口ロボットです。従来機比で25.5%の軽量化、26%の消費電力削減、72%の整定時間短縮を実現しています。2013年2月には、日本機械工業連合会よりその省エネ性能を評価頂きまして、優秀省エネルギー機器に選出され、日本機械工業連合会会長賞を受賞いたしました。

YCシリーズは、2011年夏の販売開始より順調に売上を伸ばしており、お客様からも高い評価を頂いております。今後も高い生産性と省エネ性を兼ね備えた製品を世界各国のお客様へ提供してまいります。

Q 新規の特注機ビジネスについてお聞かせください。

A. 特注機ビジネスの新規事業分野としまして半導体業界と医療業界がございます。半導体業界の今期は軟調な

推移でしたが、長期的には力強い成長が続くと予想しております。医療業界分野は予定通りの売上となりました。

2013年4月には、両分野の開発・生産拠点であるテクニカルセンターが稼働を始めました。クリーンルームを併設し、大型案件にも対応できる施設であり、このテクニカルセンターを活用して引き続き製品開発に注力し、受注獲得に努めてまいります。

Q グローバル展開についてお聞かせください。

A. 製品面では2012年4月にアジア向け取出口ロボット「SCシリーズ」を発売しました。最適設計を取り入れ、省エネ化によるランニングコストの削減や生産性向上を追求しております。近年アジア市場でも各国の高い電気料金を背景に「省エネ」がキーワードとなってきており、その販売台数は順調に増加しております。

また販売戦略としまして、2012年11月にはインドネシア子会社の設立、2013年4月には米国子会社メキシコ支店を開業いたしました。この他、イタリア、スペイン、ニュージーランド及びオーストラリアの各現地商社との販売代理店契約も締結いたしました。今後販売拡大が期待できる地域、新しい市場への販売網拡充に取り組んでおります。

人材面では、世界で通用するグローバル人材の育成・採用に注力しております。海外拠点を含めた技術者研修、海外トレーニー制度、そしてグローバル人材の積極採用等を継続して行っております。

Q 最後に株主のみなさまに一言お願いいたします。

A. 第40期という節目の期を迎えられましたのも、多くの皆さまのご理解とご協力があつたからこそであり、あらためまして心より厚く御礼申し上げます。おかげさまで、当期には取出口ロボット累計出荷台数が10万台を超え、新規事業向けのテクニカルセンターも完成しました。当社の更なる発展に向けて尽力し、「信用ある会社」であり続けるよう精進してまいります。引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

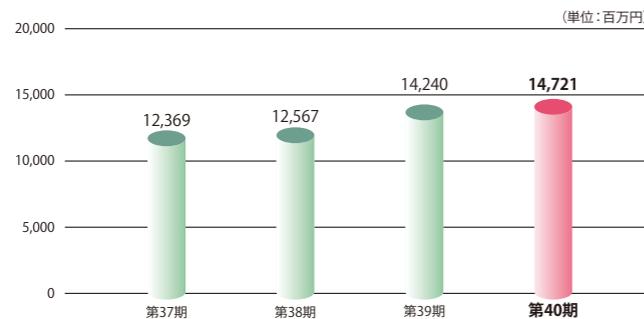
※最適設計とは

ロボットの機構やその動きを考慮して、計算機支援技術(CAE)により理論的な最適形状を求める世界最新の設計手法。近年、航空機や自動車部品などを軽量かつ信頼性の高い構造にするために使われ始めています。

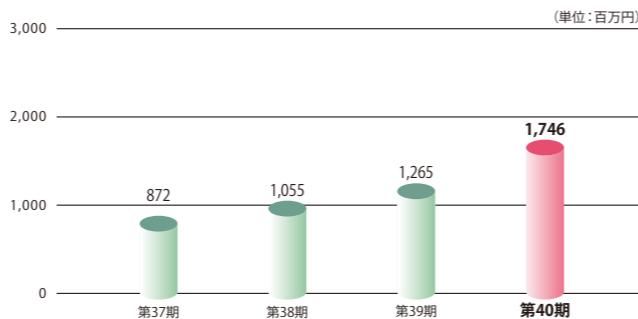


最近の連結業績推移

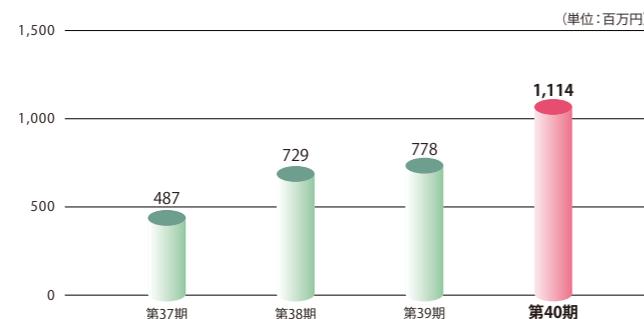
売上高



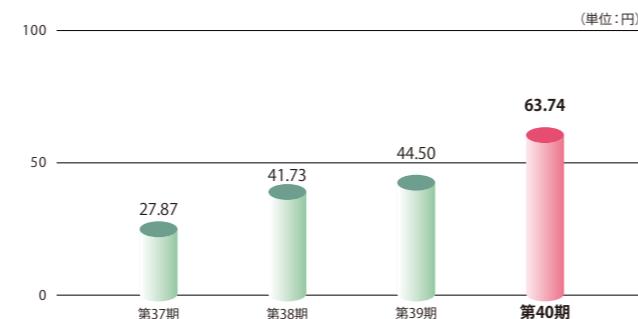
経常利益



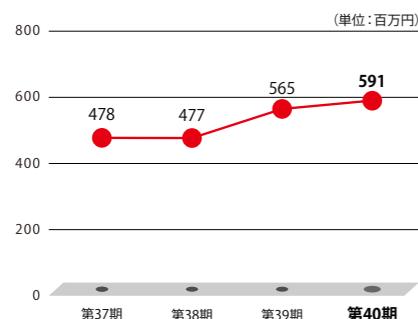
当期純利益



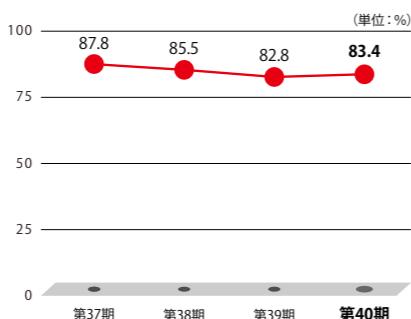
1株当たり当期純利益



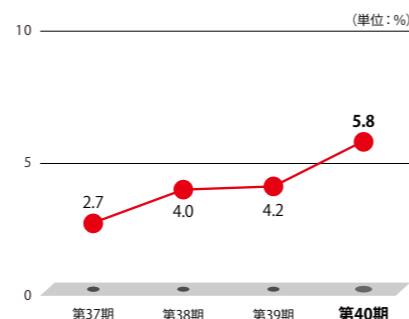
研究開発費



自己資本比率



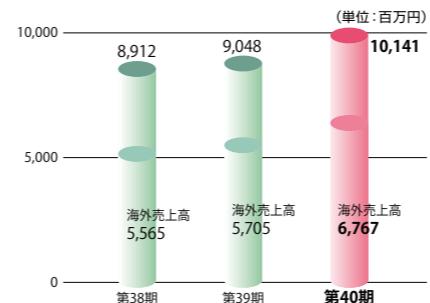
ROE(自己資本利益率)



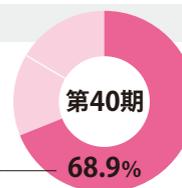
営業の概況

品目別売上高について

取出口ロボット

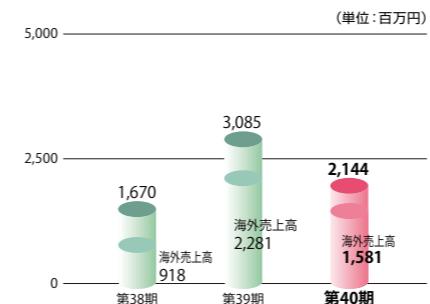


売上高構成比
取出口ロボット

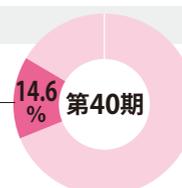


- 前期比1,092百万円増(12.1%増)の10,141百万円となりました。
- 最適設計を取り入れた主力製品YCシリーズが、順調に売上を伸ばしました。

特注機

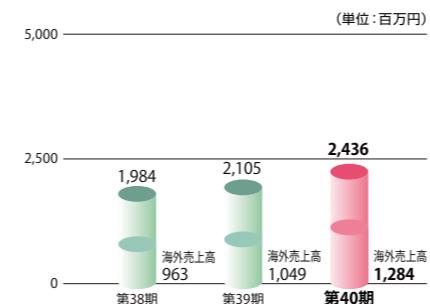


売上高構成比
特注機

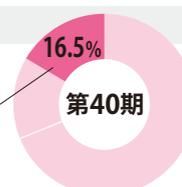


- 前期比941百万円減(30.5%減)の2,144百万円となりました。

部品・保守サービス



売上高構成比
部品・保守サービス



- 前期比330百万円増(15.7%増)の2,436百万円となりました。

連結財務諸表（要約）

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第39期 (2012年3月31日)	第40期 (2013年3月31日)
資産の部		
流動資産	16,964	17,022
現金及び預金	7,747	7,345
受取手形及び売掛金	4,670	4,601
有価証券	300	300
たな卸資産	3,615	4,028
その他	630	746
固定資産	5,677	6,721
有形固定資産	5,105	6,136
建物及び構築物	994	1,954
土地	3,935	3,953
その他	174	228
無形固定資産	81	100
投資その他の資産	491	485
投資有価証券	241	246
その他	249	238
資産合計	22,641	23,744

(単位:百万円)

科目	第39期 (2012年3月31日)	第40期 (2013年3月31日)
負債の部		
流動負債	3,728	3,700
支払手形及び買掛金	2,314	1,719
未払金	468	907
未払法人税等	300	280
その他	644	792
固定負債	126	178
負債合計	3,854	3,878
純資産の部		
株主資本	19,287	20,051
資本金	1,985	1,985
資本剰余金	2,023	2,023
利益剰余金	15,625	16,390
自己株式	△ 347	△ 348
その他の包括利益累計額	△ 533	△ 259
少数株主持分	33	73
純資産合計	18,787	19,865
負債純資産合計	22,641	23,744

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第39期 (2011年4月1日～2012年3月31日)	第40期 (2012年4月1日～2013年3月31日)
売上高	14,240	14,721
売上原価	8,810	8,950
売上総利益	5,429	5,770
販売費及び一般管理費	4,157	4,272
営業利益	1,272	1,498
営業外収益	68	252
営業外費用	76	4
経常利益	1,265	1,746
特別利益	2	35
特別損失	2	2
税金等調整前当期純利益	1,265	1,779
法人税等	484	593
少数株主損益調整前当期純利益	780	1,186
少数株主利益	2	71
当期純利益	778	1,114

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第39期 (2011年4月1日～2012年3月31日)	第40期 (2012年4月1日～2013年3月31日)
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	584	520
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,920	△ 781
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 409	△ 351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 73	164
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,818	△ 448
現金及び現金同等物の期首残高	9,831	8,013
現金及び現金同等物の期末残高	8,013	7,564

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益は1,779百万円でしたが、仕入債務の減少額が818百万円、たな卸資産の増加額が258百万円と大きく、法人税等の支払額は648百万円であったため、営業活動によるキャッシュ・フローは520百万円の収入超過(前期は584百万円の収入超過)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出777百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは781百万円の支出超過(前期は1,920百万円の支出超過)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が350百万円ありましたので、財務活動によるキャッシュ・フローは351百万円の支出超過(前期は409百万円の支出超過)となりました。

トピックス & 新製品ニュース

優秀省エネルギー機器表彰

この度、主力製品のサーボトラバース取出口ロボット「YCシリーズ」が、平成24年度優秀省エネルギー機器表彰において、日本機械工業連合会会長賞を受賞しました。この表彰は概ね5年以内に開発された産業用機械類のうち、実用化された優秀な省エネルギー機器を対象にしています。YCシリーズは、現在当社が積極的に取り組んでいる計算機支援技術(CAE)による最適設計を採用した機種であり、省エネ性(26%省電力化、75%エア消費量削減)・生産性(72%の整定時間短縮)・安全性(予知保全機能の搭載)が向上しています。



最適形状ロボット YC

フランスCEA-Letiとパートナー協定を締結

2013年1月、フランス原子力庁・代替エネルギー庁(CEA) 付属の電子技術研究所(Leti)と、三次元実装されたIC(集積回路)を共同開発することで合意しました。三次元ICとは、複数のチップを積層し、TSV(Through-Silicon-Via)で接続した新しいタイプのICパッケージです。今回の共同開発では、チップの積層に必要な極薄ウェーハの薄肉化及びその後続処理のサポートに当社のテンポラリー・ウェーハ・ボンディング技術を活用します。CEA-Letiとのパートナー協定を機に、ヨーロッパでの半導体関連装置の拡販を目指してまいります。

テクニカルセンター完成

2013年4月、新開発・生産拠点「テクニカルセンター」(京都市南区)が完成しました。敷地面積10,850㎡、延床面積9,577㎡、地上4階建てで、本社から徒歩約8分のところに位置しています。この完成により新規事業(半導体関連及び医療関連)での大型案件にも対応可能となりました。より高品質な製品の開発・生産を行い、今後の更なる売上拡大を目指してまいります。



設立40周年記念懇親会

当社は2013年10月22日に会社設立40周年の節目を迎えます。それに先立って2月23日、京都で全社員を対象にした記念懇親会を開催し、40年の歴史を振り返るとともに今後の更なる発展を誓い合いました。



会社概要・株式情報

商号 株式会社ユーシン精機
YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.
設立 1973年10月
資本金 1,985,666千円
本社所在地 京都市伏見区久我本町11番地の260
TEL.075-933-9555(代) FAX.075-934-4033
ホームページ <http://www.yushin.com>
事業内容 取出口ロボットを中心にプラスチック射出成形工場の合理化・FA化を推進する機器・システムの開発、製造、販売

役員一覧 (2013年6月26日現在)

代表取締役社長	小谷 真由美
専務取締役	木村 賢
常務取締役	大立 泰治
常務取締役	北川 康史
取締役	辻本 雄二
常勤監査役	澤田 主二郎
監査役(社外)	折田 泰宏
監査役(社外)	吉川 孝雄
監査役(社外)	鎌倉 寛保

株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行済株式の総数 17,819,033株
期末株主数 4,782名

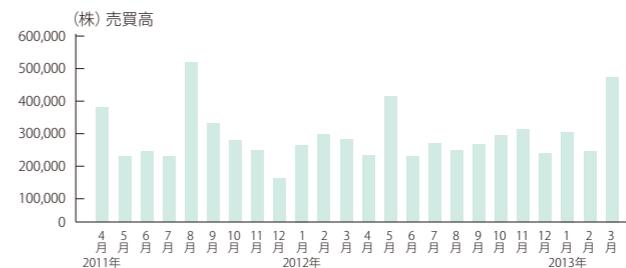
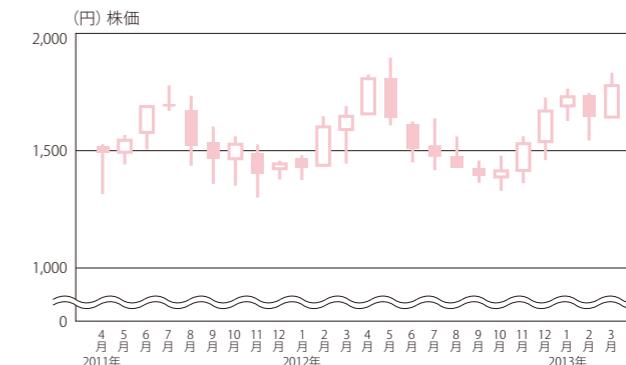
● 株式分割の推移

1996年 5月 1割
1997年 5月 2割
1998年 5月 2割
1998年 11月 2割
1999年 11月 2割
2000年 5月 1割
2001年 5月 1割
2004年 5月 1割
2008年 4月 1割

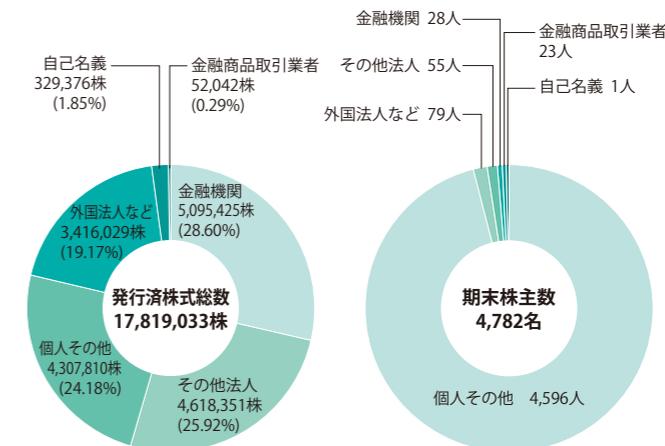
● 配当金の推移

2008年 3月期 35円
(35周年記念配当5円含む)
2009年 3月期 28円
2010年 3月期 15円
2011年 3月期 18円
2012年 3月期 20円
2013年 3月期 30円
(40周年記念配当10円含む)

● 過去2年間の株価・売買高 (東証第一部)



● 株主構成 (株数別、人数別)



●国内ネットワーク

- 本社・工場
- 中部統括営業所
- テクニカルセンター
- 静岡営業所
- 東京統括営業所
- 名古屋西営業所
- 西関東営業所
- 西日本統括営業所
- 長野営業所
- 富山営業所
- 北関東統括営業所
- 広島営業所
- 東北営業所
- 福岡営業所
- 岩手サテライト
- 大分サテライト
- つくば営業所

●連結子会社

- Yushin Korea Co., Ltd. (韓国)
- 有信国際精機股份有限公司 (台湾)
- 有信精機商貿(上海)有限公司 (中国)
- 有信精機貿易(深圳)有限公司 (中国)
- PT. Yushin Precision Equipment Indonesia (インドネシア)
- Yushin Precision Equipment Sdn. Bhd. (マレーシア)
- Yushin Precision Equipment (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- Yushin Precision Equipment (India) Pvt. Ltd. (インド)
- Yushin Automation Limited (イギリス)
- Yushin America, Inc. (アメリカ)
- 广州有信精密机械有限公司 (中国)

●駐在員事務所

- フィリピン駐在員事務所 (フィリピン)
- ベトナム駐在員事務所 (ベトナム)
- ホーチミン駐在員事務所 (ベトナム)

●総代理店

- Tasman Machinery Limited (ニュージーランド)
- Tasman Machinery Pty Limited (オーストラリア)
- MACAM S.r.l (イタリア)
- Polymac-Robotics B.V. (オランダ)
- MECMAN INDUSTRIAL, S.L. (スペイン)
- En-Plas Inc. (カナダ)

●株主メモ

- 証券コード 6482 (東証第一部)
- 単元株式数 100株
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777 (通話料無料)
- 公告方法 電子公告 当社ホームページにて掲載
(<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6482/6482.html>)

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ホームページのご案内

ホームページにて当社の企業情報を随時開示しております。
製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、
IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。



トップページ



IR情報ページ

<http://www.ype.co.jp/>

Heartful Technology

Yushin 株式会社ユーシン精機

〒612-8492 京都市伏見区久我本町11番地の260
TEL.075-933-9555 (代) FAX.075-934-4033
ホームページ <http://www.yushin.com>



この冊子は、環境に配慮した
ベジタブルインクを
使用しています。

